

総合安全保障研究科前期課程第23期学生

選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

- 問1 安全保障分野の国家間協力が困難な理由を、国際社会の構造と構成主体の基本的な特徴から説明せよ。
- 問2 1970年代初頭の米中接近の過程で、米中両国がアジアにおける地域問題（台湾を含む）にいかに対処しようとしたのかについて、任意の事例を挙げて論じられたい。複数の事例を挙げ、比較検討することも可とする。

国際政治史

次の2問に答えよ。

- 問1 1950年代前半のアジア太平洋地域における国際関係の展開について論じよ。その際地域の中小国の動向にも言及すること。
- 問2 2011年以降のアラブ諸国における政治変動が中東地域に与えた影響について論じよ。

公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 戦争が社会にもたらすコストについて、経済学的に論じなさい。

問2 急激に進む少子高齢化は、わが国の経済にどのような問題を引き起こすと考えられるか。また、その問題を解決するためには、どのような方策が考えられるか、答えなさい。

憲 法

次の2問に答えよ。

問1 国の行為が憲法により禁じられる宗教的活動に該当するかを判定する審査基準について論じなさい。ただし、必ず日本の判例に言及しつつ、以下の諸点について検討すること。

- ① 政教分離原則に関する規定は、国民の主観的権利を保障するか否か。
- ② 目的効果基準の意義は、どのように評価されるべきか。

問2 防衛関連情報の取り扱いと関係する、日本国憲法上の論点を挙げた上で、①その論点がどのように防衛関連情報と関係するのかを明らかにした上で、②その論点に関する憲法判断の枠組みを示しながら、③その論点について論表を加えなさい。
(統治機講論及び人権論のいずれかについて論じても構わない)。

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 国際法における軍艦の地位について論じなさい。

問2 武力紛争を規制する国際法は、*jus ad bellum*（武力行使それ自体の合法性を判断する規則）と *jus in bello*（武力紛争の期間における交戦者の行為を規律する規則）という2つの法構造からなっている。この2種類の国際法の相違について具体的に説明しなさい。

組 織 管 理 論

次の2問に答えよ。

問1 安倍首相は「長時間労働を自慢する社会を変えていく。かつての『モーレツ社員』、そういう考え方自体が否定される。そういう日本にしていきたい」（「働き方改革実現推進室」開所式での訓示、官邸ウェブサイトから）と述べたが、この発言の① 背景、② 意図、③ 具体的な実現策について、あなたの考えを述べなさい（組織管理の理論と関連づけて、平易な文章で論理的に述べること）。

問2 ホーソン工場実験が、その後の組織管理に与えた影響について、実験の内容を踏まえながら述べなさい。

行政学

次の2問に答えよ。

問1 NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）とは、いかなる行政改革の試みか、説明しなさい。

問2 政策決定過程に関するグレアム・アリソンの古典的モデルについて、説明しなさい。また、アリソン・モデルとは、かなり異なるゴミ缶モデル（ゴミ箱モデルとも呼ばれる）についても、比較しつつ説明しなさい。